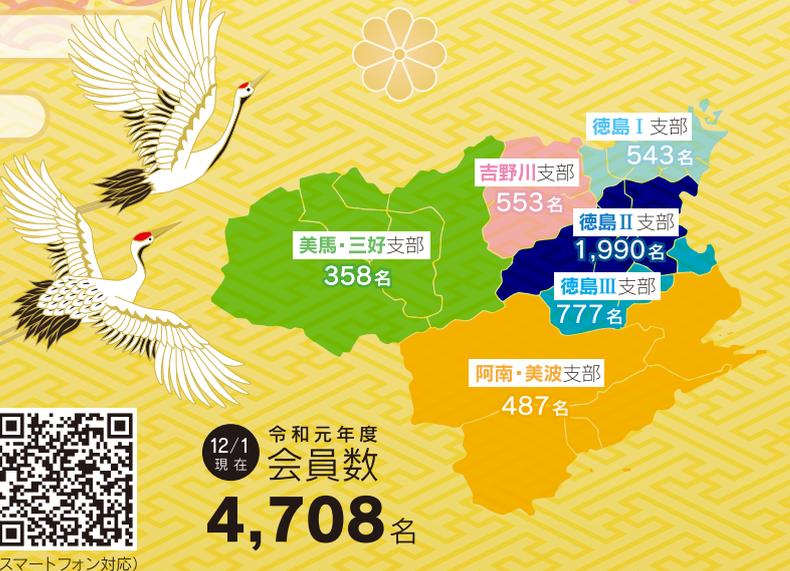


No.
95



文字 小 標準 大 | 検索

| ホーム | アクセス | お問い合わせ | プライバシーポリシー | サイトマップ |



CONTENTS

会長挨拶	2
知事要望	2
令和元年度 叙勲	2
職能委員会活動報告	3
支部活動報告	4
キラキラ新人さん	6
訪問看護出向支援事業	8
第36回徳島県看護学会	8
ナースセンターだより	9
第6回訪問看護普及フォーラム開催	9
ワンポイントアドバイスNo.38	10
編集後記	10
火災や風水害等に遭われたとき	10
災害支援ナース養成研修を開催しました	10
令和2年度の継続について	10



(スマートフォン対応)

Web 受講

協会ニュース「和」

日本看護協会

日本看護協会出版会

会長挨拶



会長 稲井 芳枝

皆様、明けましておめでとうございます。お健やかに新年をお迎えのことと存じます。日頃は、公益社団法人徳島県看護協会の活動にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、令和元年として、ラグビーワールドカップ開催など盛り上がりの中で新たな時代となりましたが、台風による深刻な被害が、佐賀県、千葉県など全国各地で発生し、10月の台風19号では、日本列島を直撃し、広範囲に甚大な人的・物的被害を出したことは、記憶に新しいことと思います。毎年各地で局所的・広域的豪雨に見舞われており、徳島県内でもいつ災害が発生してもおかしくない状況です。生命と安全をまもる私たちには、日頃からの防災対策と発災時の初期対応の重要性を実感しているところです。

また、事業としては、地域包括ケアシステムにおける円滑な看護提供体制推進のために「訪問看護出向支援事業」を実施するとともに、助産師の出向を主とした「助産師活用推進事業」を進めております。

看護職の人材確保・偏在化の解消や看護の質向上に寄与するものと考えております。

さて、徳島県看護協会の会員数は、4,708人となり、昨年に比べて微増しております。皆様方のご支援に感謝申し上げます。

今年は、看護協会設立40周年を迎えます。またナイチンゲール生誕200年の年でもあり、NursingNowキャンペーンとともに、10月には「設立40周年記念式典及び記念講演会」を開催し、「いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護」の実現を目指して、皆様とともに深め合いたいと思います。

今年も、引き続き、多くの皆様にご協力頂き、事業を進めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。そして、2020年が皆様にとって平和で心穏やかな一年になりますよう、ご祈念申し上げます。

知事要望

公益社団法人
徳島県看護協会
R1.11.19(火)

- I. 地域包括ケアシステムにおける看護提供体制の推進
 - 徳島県訪問看護支援センターの機能強化・拡充
- II. 新未来社会のニーズに応え得る人材育成・確保・定着
 - 次世代の看護職育成・確保・アクティブナース活躍支援
 - 看護職のキャリア形成支援



秋の叙勲

受章
おめでとうございます



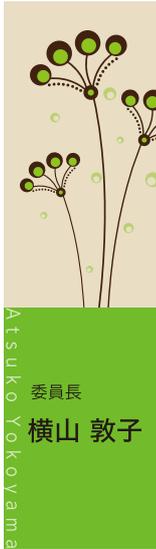
瑞宝双光章

藤家 豊美 様
(とうけ とよみ)

活動報告

保健師職能委員会

地域包括ケアシステム
構築を目指した
保健師活動のために



Atsuko Yokoyama

委員長

横山 敦子

保健師職能委員会では、地域包括ケアシステム構築に対応する保健師のキャリア形成の推進を活動目標として、「研修会」や「職能集会」を開催し、保健師の専門性の向上や看護職間の連携強化を推進しています。

今年度は、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）についての「支部・3職能合同研修会」や、児童虐待予防に関する「保健師・助産師合同研修会」を開催し、看護師・助産師の皆さんと共通した課題について話し合い、看看連携を基盤とした地域包括ケアの推進に取り組んでいます。

また、保健師の交流会としては、「日頃の思いを話してみませんか!」をテーマに「保健師ランチョンセミナー2019」を7月に開催し、保健所や市町村で働く就業後3年目までの保健師の交流を図りました。

さらに、県内で働く保健師や看護学生を対象に「若手保健師ランチョンセミナー2019」を11月に開催し、「保健師活動の軌跡～保健師になって、今、思うこと～」についての体験発表や意見交換を行い、県内保健師の顔の見える関係づくりやネットワークの構築に努めています。

是非、皆様にご参加いただき、県内保健師のキャリア形成の推進を図っていきたくと考えています。

活動報告

助産師職能委員会

切れ目のない看護・助産
機能の強化を目指して



Mika Ueta

委員長

上田 美香

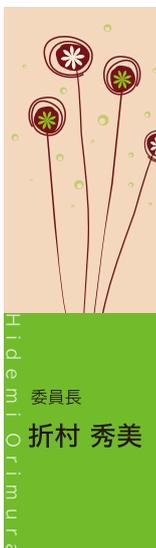
助産師職能委員会は、すべての妊産褥婦と新生児およびその家族へ助産師のケアを提供するという基本理念の実現にむけ活動しています。

助産師は、周産期医療をめぐる環境の変化に対応しながら、自律的に行動することや助産実践能力の強化に努めること、多職種と協働することが求められています。特に、子どもへの虐待予防や周産期のメンタルヘルスケアでは、関連団体と連携した妊娠期からの切れ目のない支援がこれまで以上に求められてきています。令和元年9月21日に切れ目のない看護・助産機能の強化を目的に、「メンタルヘルスケアワークショップ in 徳島」を開催しました。中国・四国地区から136名（県外76名、県内60名）の方にご参加いただきました。妊産褥婦の全ての人にメンタルヘルスケアが必要であり、メンタルヘルスケアは子どもへの虐待予防に繋がっていること、母子やその家族を切れ目なく支援するためには多職種連携が必要不可欠であることを学ぶことができました。また、令和2年2月に保健師さんと合同で児童虐待予防に関する研修会を開催します。切れ目のない看護・助産機能の強化を図っていきたくと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。

活動報告

看護師職能委員会

看護職がつなぐ
地域包括ケアシステム



Hidemi Oirimura

委員長

折村 秀美

看護師職能委員会は病院領域であるⅠと介護・福祉関係施設・在宅領域のⅡで活動しています。本年度は地域包括ケア推進に向け、あらゆる分野の看護職が連携し、全ての人々の生活を支えるために必要な情報収集・課題発見・意見集約を進めています。

2019年10月5日「介護殺人から学ぶこと」～地域で介護を支えるために～と題し、看護師職能委員会Ⅰ主催の交流会を開催しました。介護は他人事では無く、大介護時代とも言われ、誰もが親の介護や配偶者の介護から無縁でいられないのが現実です。老老介護、介護離職、多人数介護など「家族の事は家族で解決しなければならない」という、価値観から、主たる介護者は孤独になりがちです。介護の場面で、実際に起きた悲しい事件に対し、弁護士の立場から具体的な事例が紹介され、参加者全員で考える事が出来ました。

10月16日は中四国看護師職能委員長会が愛媛県で開催されました。日本看護協会がめざす地域包括ケアシステムのあるべき姿は全世代が対象です。看護職のより強い連携が必要であるという意見が交わされました。



支部活動報告

徳島支部Ⅰ

支部長 日野出 裕美

徳島支部Ⅰ（鳴門・板野地区）では、地域住民の健康増進、福祉の向上を図るために支部Ⅱと共に、毎月第2・4土曜日に常設の「まちの保健室」を開催しています。今年度より、開催場所をスーパーセンターマルナカ徳島店に、開催時間を10時から12時に変更しています。

また、地域看護サービスとして、10月19日に鳴門市で開催された「子どものまちフェスティバル」と12月14日開催予定の「100円商店街」のイベントに参加予定です。『1日まちの保健室』や『ナースに変身コーナー』を設け、地域住民の方々や子ども達とのふれあいを通して、イベント事業の活動を行っ

ています。

支部施設交流会においては参加施設も少しずつ増加し、看護協会の活動や研修等の情報提供、よりよい支部活動に向けての話し合い、施設間での情報交換等、顔の見える関係づくりを通して看看連携を推進する場となっています。

看護の出前授業では、依頼を受けて看護職が地域の小中学校に出向き、『いのちの大切さ』や『看護職の仕事』などのテーマで授業を行っています。

今後も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



徳島支部Ⅱ

支部長 橋本 幸子

日頃より支部活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

徳島支部Ⅱは、徳島市、名西郡、佐那河内村を担当し、地域住民の健康増進と福祉の向上を図るために各施設と連携して活動をおこなっています。

常設「まちの保健室」を支部Ⅰと協働し、毎月第2・4土曜日にマルナカスーパーセンター徳島店において開催しています。性別・世代を問わず、出産・育児・病氣・生活習慣病・介護などで気になることや心配事など、気軽に立ち寄りて相談できる場所です。

今年度は、地域サービス（イベント）事業として「1日まちの保健室」を9月16日に、キョーエイタクト店

にて実施しました。血管年齢・骨密度測定には、延べ102人の方に参加いただき、待ち時間が必要なほどでした。測定結果と食事や運動など普段の生活習慣について健康相談を行い、イベントを通じて地域住民の皆さんとふれ合うことで、健康への関心を高める良い機会になったと考えています。次回のイベントは、令和2年1月に、認知症看護認定看護師による出前講座「認知症について学ぼう（仮）」を予定しています。

施設交流会では、看護協会の活動や研修等の情報提供、支部の活動報告、地域サービス事業の企画、施設間の情報交換などで顔の見える関係をつくり、協働して地域住民のニーズに合う活動を推進しています。

今後とも地域住民の方の身近に看護師がいることで、安心でき、その人らしく暮らすことができる地域づくりに努めますので、よろしくお願いいたします。



徳島支部Ⅲ

支部長 久米 宏実

日頃より、支部活動にご理解ご支援をいただき、ありがとうございます。

徳島支部Ⅲは、小松島市、勝浦郡の地域を担当しています。

令和元年度の主な活動としては、地域サービス（イベント事業）をショッピングセンター・ルピアで年2回開催しております。5月には①血圧測定②体脂肪測定③骨密度測定による健康チェックと共に、脳年齢測定や血管年齢測定を実施、脳力トレーニングを紹介し、参加者にとっても好評でした。11月にも①血圧測定②体脂肪測定による健康チェックと健康相談を開催しています。

また、常設「1日まちの保健室」を

阿南・美波支部と協力して、第2・4土曜日にショッピングプラザ「アピカ」で開催しております。看護職の専門性を活かした健康相談を実施し、地域の方々の健康への関心を高めると共に、看護職を身近に感じ、活動の理解を深めていただく良い機会となっています。

年三回の施設交流会では、顔の見

える関係を大切にし、支部施設間の看護師の交流・情報交換を行っています。今後も施設間の交流を図り、地域住民の方々の健康保持・増進をはかるため、地域に密着した事業を推進していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。



阿南・美波支部

支部長 千田 幸代

吉野川支部

支部長 三木 真澄

美馬・三好支部

支部長 宮本 美恵

日頃より支部活動にご理解、ご支援いただきありがとうございます。

阿南・美波支部は阿南市、海部郡、那賀郡の地域を担当し、年間の事業計画に沿って地域に密着した活動を行っています。

支部活動の一つである“南部まちの保健室”を、徳島支部Ⅲと協働して阿南アピカ店で開催しています。今年度より第2・4土曜日の10～12時に変更となりましたが、内容としては今まで通りの血圧測定・体脂肪測定・肺チェッカーによる肺年齢測定となっています。また、健康や介護、育児などの相談にも対応しています。

また、阿南・美波支部の施設の方

の交流を深めるために施設交流会を年3回開催しています。1回目は7月25日に海南病院で開催いたしました。第2回施設交流会も11月に阿南医療センターで開催し、参加された施設の人との関わりを通し、いろいろな情報共有することができました。3回目は2月に開催予定にしています。

イベント事業として、10月20日に“あなん健康まつり”で“まちの保健室”、令和2年1月25日に“阿南市生涯学習推進大会”で“まちの保健室”開催し、両イベントとも大勢の方に例年、ご利用いただいています。

今後も地域に根差した活動を展開していきたいと考えています。どうぞご

協力程、よろしくお願いいたします。



日頃より、吉野川支部の活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。吉野川支部は吉野川市と阿波市を担当し、施設交流会、常設「まちの保健室」、イベント事業、出前授業等の活動を行っています。

施設交流会は3回／年開催し、施設間の情報交換や交流を深めています。常設「まちの保健室」は貞光ゆうゆう館で第2、4土曜日の午前中に開催し、健康相談や健康チェックを行っています。

イベント事業としては、11月3日に阿波市「アエルワ」で「1日まちの保健

室」を開催し、健康・栄養・糖尿病・訪問看護等の相談や、体脂肪・骨密度・血圧等の測定を行いました。また11月16日には吉野川医療センターで高校生を対象に「命の授業～生まれてくるって素晴らしい～」のテーマで思春期講座を開催の予定です。

出前授業は、「手洗い」「命の大切さ」「性教育」などを地域の学校の依

頼に基づいて行っています。近年、行事として定着している学校もあります。またこれらの授業を通じて看護職を目指す人も多いとの話も聞き「看護の心」の拡がりを感じています。

今後も皆様が住み慣れた地域でいきいきと暮らすために、支部活動を行っていきたくと思います。ご協力よろしくお願い致します。



令和元年度、美馬・三好支部の支部活動の一つである「まちの保健室」は、道の駅「ゆうゆう館」で開催しています。農産市や各種イベント等に参加された方を中心に、血圧や体脂肪・肺活量の測定をおこない健康相談に応じています。また、認定看護師も参加し専門的な相談もお受けしています。

イベント活動では、3校の高校の文化祭に保健展の中で看護のブースを設けて頂きました。その中で、進路相談に応じたり、血圧測定などを通じて看護職の仕事を生徒やご家族に伝えたりする機会にもなりました。

年3回の施設交流会は、それぞれの施設や地域の情報交換の場となってい

ます。また、この会を通じて培われた顔の見える関係づくりを、地域包括ケアの看看連携に活かそうとしています。

今後も、地域住民の健康の増進や福祉の向上を図るために、地域に密着した活動を行って参りたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



モキラ 新人さん



患者さんや家族に
寄り添った看護を



徳島大学病院
東病棟4階 (ICU)
看護師 熊井李依

ICUで看護師として働き始め約半年が経ちました。初めは、重症患者さんや多くの医療機器を目の前にし、戸惑うことも多く、緊張と不安の日々が続きましたが、優しく頼りになる先輩方からの手厚いご指導やサポートを受け、今では充実した日々を送ることができています。まだまだ慣れないことや勉強不足な点が多いため、自己研鑽に励み、少しずつ成長していきたいと思っています。アセスメントができ、患者さんや家族の思いに寄り添った看護ができるよう頑張っていきます。

日々成長して
いきたい



徳島大学病院
東病棟8階
看護師 森 香澄

整形外科・泌尿器科病棟に入職して半年が経ちました。初めは、業務を覚えることに精一杯で、患者さん一人一人と向き合えていなかったと思います。そのような私を見て、「慌てず術前術後の患者さんの全身状態をよく見て考えよう」等、先輩方の優しい指導により、少しずつ患者さんの状態に合わせた看護ケアが提供出来るようになりました。そして、「ありがとう」と患者さんから声をかけていただくことが増えました。これからも日々学び、患者さんから信頼される看護師を目指します。

患者様に寄り添える
看護師に



徳島赤十字病院
看護師 甘利 僚平

私は研修看護師として、現在ER(救急外来)勤務をしています。救急搬送された患者様に対して、先輩看護師が素早い観察と情報収集をしながら、適切な判断のもと処置をしている姿を目の当たりにし、驚きを感じるとともに自分もチームの一員になりたいと強く感じています。そのためにも残りのローテーション研修で知識と技術を身につけ、急性期看護につなげていきたいと思っています。

忙しい業務の中でも患者様の立場に立って考え、寄り添う看護ができる看護師になりたいと思っています。



患者さんに
寄り添える看護を



徳島県立中央病院
8階南病棟
看護師 都 菜々子

入職して半年がたち、患者さんが元気になり退院していく姿や「ありがとう」の言葉にやりがいを感じています。しかし、1人で業務する機会も増え看護師の責任の重さを痛感しています。また、先輩方に毎日指導していただき、多くの学びを得ながら業務にあたる事ができています。まだまだ未熟ではありますが、先輩方のように豊富な知識をもった上で患者さんに寄り添える看護ができるよう、頑張っていきたいと思っています。

ICU看護師として



徳島県立中央病院
ICU
看護師 堤 妃華里

初めての配属部署がICUであり半年が経過しました。ICUでは、大手術後の患者さん、院内急変や救急外来からの重症患者さんの看護をしています。救命処置やアセスメントなど求められる看護のレベルは高く、不安と緊張でいっぱいになることもあります。しかし、いつも先輩方が支えてくれて優しくご指導して下さいます。もっと成長していき、一人でも多くの患者さんを救命し社会復帰できるよう看護していきたいです。



安心を与えられる
看護師に



田岡病院
看護師 **山品 穂乃果**

入職して半年が経ち、少しずつ自分でできることが増えてきた半面、自分で考え行動しなければいけないことも増えてきました。そのため、自分の知識・技術のなさや、看護の難しさ・責任の重さを痛感し、焦ったり不安になることもあります。しかし、先輩方がフォローして下さったり、患者様から笑顔や感謝の言葉をいただいたときは嬉しく、頑張ろうと思えることができました。まだまだ未熟ですが日々笑顔を忘れず、正確な知識と技術を身につけ、患者様に安心感を与えることができる看護師になれるよう精一杯努力していきたいと思っています。

一つ一つのお産を
大切に



徳島市民病院
助産師 **勝浦 直美**

私は現在助産師として、妊産褥婦や新生児、婦人科疾患の患者さんと関わらせていただいています。多岐にわたる業務を覚えることに精一杯ですが、一步一步前進していきたいと思っています。これまでに12例の分娩介助をさせていただきましたが、毎回異なり新たな発見と学びの繰り返しです。一つ一つの出会いとお産を大切に、母子ともに安全なお産となるよう知識と技術を身につけ努力していきたいと思っています。



自分の目指す
看護師に



阿南医療センター
5北病棟
看護師 **堀江 侑芽**

看護師として働き始めて約半年が経ちました。実際に働いてみて、業務の中で、本当に自分が思い描いていた看護ができていいのか悩むこともありましたが、患者様から励ましの言葉をいただくと、看護師としてやりがいを感じることができました。私の病棟は外科と内科が混合しており、まだまだ勉強不足な部分が多くありますが、先輩方に支えられて日々頑張っています。これからも自分の理想とする看護師像を持ち続け精進していきたいと思っています。

私の目指す看護



阿南医療センター
5南病棟
看護師 **西岡 悠**

今年から新人看護師として働き始めて7カ月が経ちました。夢見た看護師という職業に就く事ができ、慣れないこと、不安や戸惑いもある中で周囲に支えられながら毎日頑張っています。病棟では患者様が安心・安全に過ごせるような関わりを心掛けています。

時に患者様の感謝の言葉や笑顔にこちらが支えられることも多くあります。そんな患者様の存在を大切に、共に働く医療スタッフとも連携を深め、質の高い看護が提供できるよう成長していきたいです。

丁寧な看護を
目指して



阿南医療センター
3南病棟
看護師 **黒田 愛莉**

就職してから6か月が経ちました。日々の仕事にも少しずつ慣れてきましたが、まだまだ分からないことも多く、プリセプターさんや先輩方に教えていただいています。

私の勤務する病棟では、脳神経外科・耳鼻科・皮膚科などの患者様が入院しており、より多くの疾患について学ぶことができます。日々の業務では大変な事もありますが、患者様の気持ちに寄り添い、丁寧な看護を提供できるように経験を積んでいきたいです。

訪問看護出向支援事業

今年度から、徳島県の委託を受け、地域包括ケアシステムにおける円滑な看護提供体制を推進するために、病院看護師が訪問看護ステーションに出向し、在宅療養を経験することで退院支援実践力の向上を図るとともに、訪問看護師が病院に出向し、医療処置や患者支援、退院調整を経験することで、在宅療養支援実践力の向上を図ることを目的に訪問看護支援事業が始まっています。



上那賀病院スタッフと

新卒から訪問看護師として働き始め、3年目になりました。病院での勤務経験がなく、看護技術や緊急時の対応、意思決定支援の援助など不安を残すところもあり、病院での看護経験を積む機会はないかと考えていました。

今回、訪問看護出向支援事業のお話を頂き、喜んで事業への参加をお願いし、上那賀病院への3ヶ月の出向が決定しました。

上那賀病院は、地域の基幹病院として地域住民に寄り添い、急性期から慢性期・終末期に至るまで、様々な治療・看護を提供されています。スタッフの方々、外来受診される患者さん、入院されている患者さんに温かく迎えて頂き、日々めまぐるしく、治療や処置、検査等の看護技術、疾患や薬剤、看護技術に必要な知識や技術、関係職種間での連携、訪問診療の同行や地域ケア会議への参加を通して、地域との関わり等多くのことを学ばせていただいています。3ヶ月間という短い期間ですが、より多くの知識と経験を身につけ、看護師として成長したことを訪問看護の現場で、そして地域で暮らす方々へ還元できるように一歩ずつ成長していきたいと思えます。



徳島県看護協会
訪問看護ステーション阿南 内田 静香

第36回徳島県看護学会

第36回徳島県看護学会が12月14日（土）に、徳島大学・大塚講堂で初めて開催されました。参加者は261名でした。初めに稲井学会長の挨拶があり、その後9施設より口演発表11演題、示説発表5演題の発表が行われました。今年度は新たにインフォメーションブースを設け、39ポスターが掲示されました。

特別講演は、追手門学院大学心理学部教授の浦光博先生に「看護に役立つ人間関係」をテーマに、御講演いただきました。温かな看護について学びを深めました。

今年度は開催場所を変更し、インフォメーションブースの設置など新たな取り組みを行い好評価を得ました。

優秀論文賞 該当なし

奨励賞 「若手看護師の働きがいに関する構成要素」

JA徳島厚生連吉野川医療センター 多田 由紀・山下 優・竹内 沙織

36回 徳島県看護学会
公益社団法人 徳島県看護協会





ナースセンターだより

(H.27.10.1~R1.11.30)

☆看護職届出の状況

届出者のうち、eナースセンター登録・求人施設への応募・就職者数

届出・eナースセンター登録・応募・就職	全 国		徳島県	
	総 計	割 合	総 計	割 合
届出数	107,812		905	
うちeナースセンター登録者数	43,767	40.6%	446	49.3%
うち求人施設への応募者数(紹介数)	11,934	10.3%	171	18.9%
うち就職者数	10,265	9.5%	165	18.2%

☆就職ガイダンス

看護職の求職者や看護学生、看護の道に進みたい人が、看護職を必要とする施設で、施設の概要や業務内容、労働条件等を自分の目で耳で肌で確認してもらうガイダンスを開催。2019年度は、看護技術演習や施設の特徴を活かしたケア体験等も組み込んだガイダンスを実施した施設もあり、参加求職者の就業意欲の向上につながりました。

求人施設も現場で求職者に施設を紹介することは、メリットがたくさんあります！

オープンホスピタル2019

10月から12月までの3ヶ月間で実施

●参加施設《開催・開催予定順》

東部

松永病院・吉野川病院・TAOKAこころの医療センター・稲次病院・川島病院・亀井病院・天満病院・博愛記念病院・田岡病院・徳島健生病院・芳川病院・とくしま健生デイサービスセンター・そよかぜ病院・稲山病院・藍里病院・井上病院・協立病院・きたじま田岡病院・訪問看護STとてと・手束病院

西部

箬蔵山荘・芳越会・永楽荘・ルキーナうだつ・すみれ園・三野田中病院

南部

小松島病院・健祥会バイエルン・上那賀病院・羽ノ浦整形外科内科病院・江藤病院・ロイヤルケアセンター・杜のホスピタル・コスモスの里/羽ノ浦荘・キムラ・恵光苑

53名参加 15名就業(常勤3・非常勤12) 2019.12現在



☆復職研修

未就業の看護職の方対象に、看護の現場への復帰に向けて、最新の看護に関する知識・技術を習得する研修会を開催(令和元年9月~令和2年1月:講義・看護技術演習)より身近な地域で受講しやすいよう、東部・西部・南部圏域の3会場で開催

42名受講 15名就業(常勤1・非常勤10・臨時4) 2019.12現在

※就業直後で看護技術等に不安がある方もご相談ください！

ナースとして働きたい
あなたを 応援します
ナースの力を
必要とする施設を
応援します



第6回訪問看護普及フォーラム開催

徳島県訪問看護支援センター 邊見 知恵子

第6回訪問看護普及フォーラムが令和元年10月19日(土)にふれあい健康館で開催され、一般住民の方々をはじめ医療関係者や看護学生等127名の参加がありました。今年のテーマは、「人生100年時代~地域で自分らしく暮らし続けるために~」でした。

基調講演では、真宗大谷派光泉寺前坊守の釈子道子様から、「難病(ALS)の夫との暮らしの中で学んだこと」と題して、病気が発症した時から看取りまで約20年間にわたる闘病生活の様子を話していただきました。病気の進行により、夫が住職としての仕事を仕舞いにしなければならなかった時の状況や闘病生活の中での何気ないやり取りに胸が熱くなり、また人工呼吸器や経管栄養を延命処置でなく生きていく道具として捉え、「ハイテク機器をつけているじいちゃん」と話していたという孫さんの話に笑いもあり、貴重な経験談から多くのことを学ばせていただきました。

続くパネルディスカッションでは、「人生100年時代 それぞれの役割 みんなで支えます」と題し、「かかりつけ医の役割」を笠松哲司先生、「ケアマネジャーの役割」を東條喜美代氏、「医療・介護相談員の役割」を郡章人氏、「訪問看護の役割」を藤原都志子氏からの講演後参加者からの質問を受けました。在宅医療では訪問看護の役割が期待されていますが、まだまだ認知されていないため、病院の医療関係者やケアマネジャーにもっとアピールしていくことが重要との示唆を受けました。

さらに、健康チェック(血圧や骨密度、脳年齢、血管年齢)、高齢者疑似体験、相談コーナーを設け、のべ50名の方が利用されました。

訪問看護普及フォーラムは、徳島県の補助を受けて、徳島県看護協会訪問看護支援センターと徳島県訪問看護ステーション連絡協議会が共催で開催しています。今後もさらに充実した内容で開催したいと思っています。



転倒・転落予防

患者状態を把握し、
リスクアセスメントと
環境を整えましょう！！



—転倒・転落後の対応—

- ◆特に受傷後6時間以内は、急性硬膜下血腫の早期発見のために意識障害の有無、神経学的所見、頭痛・嘔吐などの新たな症状が出現しないか注意深く観察しましょう。
- ◆頭部打撲後は、明らかな症状がなくてもCT撮影が推奨されています。

編集後記

皆さま明けましておめでとうございます。昨年も協会ニュース『和』の発行にあたり御協力いただきありがとうございました。今年もより良い内容に努めて参ります。御協力よろしくお願いたします。
(広報出版委員一同)

火災や風水害等に遭われたとき

ご存知
ですか??

次の区分により見舞金が支給されます。

社会経済
福祉委員会

区 分	被災の程度	見舞金の額
火災の場合	家屋全焼	30,000 円以内
	家屋半焼	20,000 円以内
風水害及び震災の場合	家屋全壊	30,000 円以内
	家屋半壊	20,000 円以内
	家屋傾斜、床上浸水	10,000 円以内

※公益社団法人徳島県看護協会の規程によります。



災害支援ナース養成研修を開催しました

隔年実施の「災害支援ナース養成研修会」を9月8日(日)と10月6日(日)の2日間開催し、新しく33名の方が「災害支援ナース」に登録していただきました。新しくなられた方を含め現在255名の方が災害支援ナースとなっています。

災害は、いつ発生するかわかりません。南海トラフ巨大地震の備えはもとより、近年は、毎年のように台風や豪雨により激甚災害に指定されるような災害が全国いたる所で発生しております。昨年の台風19号でも4県において災害支援ナースが、病院や避難所等において活躍されました。

被害に遭われた方の生命・健康の維持、災害関連死や疾病の発生予防のため、災害支援ナースの活動は非常に重要な役割を担っています。次回開催時には、是非ご参加ください。



令和2年度の継続について

◆継続のお知らせは届いていますか？

会員情報・口座情報に変更のある方は、変更届をご提出ください。変更のない方は、提出不要です。

◆会費引き落とし期日が迫っております。指定口座の残高にお気を付けください。

◆新規入会・再加入等につきましては、書類をお送りいたしますので、徳島県看護協会までご請求ください。

